まほろば秦野通信

平成３０年８月２４日

タイトル	**高齢者の交通事故をなくすため ドライビングシュミレーターを活用した交通安全教室を開催**
Ｗｈｅｎ （いつ）	９月５日（水曜日）　午後１時半～２時半
Ｗｈｅｒｅ （どこで）	広畑ふれあいプラザ（下大槻１７４－４）
Ｗｈｏ （だれが）	秦野市、独立行政法人　自動車事故対策機構
Ｗｈａｔ （なにを）	高齢者（約３５名）を対象にした交通安全教室
Ｈｏｗ （どのように）	独立行政法人　自動車事故対策機構（NASVA）が所有するドライビングシュミレーターや視力検査を活用した適性診断体験を実施し、参加者本人の自動車運転の基本である「認知・判断・操作」能力を判断・認知してもらいます。 また、チャイルドシートの正しい取り付け方を知ってもらい、大切な孫を守る機会とする。
Ｗｈｙ （なぜ）	市内の人身交通事故発生件数は、毎年ほぼ横ばいで推移（平成２９年：421件　平成２８年：406件）していますが、高齢者が関係する事故の割合が多い（平成２９年：166件：39.4%）ことから、市では認知障害早期発見チェックリストを活用した、高齢者交通安全教室を推進しています。 更なる事故予防のため、運転能力の認知・判断できるドライビングシュミレーターを活用した教室を NASVA と協力して初めて実施します。
過去の実績	ドライビングシュミレーターを活用した教室の実施は今回初めて。
問い合わせ	くらし安全課交通安全担当　担当：遠崎 電話０４６３－８２－９６２５